

穂肥 2 回目「しっかり施用」と 常時湛水で品質向上！！

穂肥 2 回目は適期に「しっかり施用」で食味・品質向上！

○ 2 回目は出穂 10 日前（幼穂長：8 cm）にし
しっかり施用（窒素成分で 1 kg）して食味・品質
を向上させましょう。

〔散布例 ①〕 有機 30 魚沼ロマン穂肥 8kg/10a

〔散布例 ②〕 魚沼ロマン有機穂肥 10kg/10a

※魚沼ロマン有機穂肥を使用する場合は 2 日程度早めに散布しましょう。



○ 1 回目の穂肥を散布出来ず、葉色が淡くなった場合等は、2 回目をやや早め、やや増量して散布しましょう。

◆ 予想される向こう 1 か月の天候 ◆

○ 平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

○ 降水量は、平年並または多い確率ともに 40% です。

○ 日照時間は、平年並または少ない確率ともに 40% です。

【7 月 23 日から 8 月 22 日までの天候見通し（平成 23 年 7 月 22 日新潟地方気象台発表）】

穂肥 2 回目は「多すぎ」「遅すぎ」
で、食味が低下するため注意！

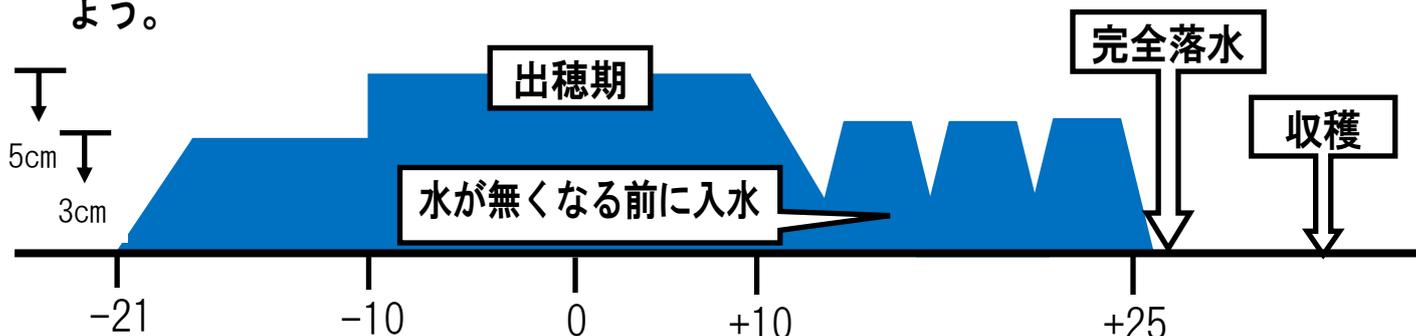
「常時湛水管理」で世界最高水準の魚沼コシヒカリ生産！

○ 出穂 3 週間前から出穂後 25 日までの間は常時湛水管理（田面を出さない水管理）を実施して「良食味・高品質米」で安心・安全な魚沼米を生産しましょう。

○ 出穂前後 10 日間（計 20 日）は特に水が必要な時期のため、やや深水管理としましょう。

○ 高温が予想される場合は、やや深水管理とし、水温の上昇を防ぎましょう。

○ 水温が上昇した場合は、新たな用水を入水するなど、水温の低下に努めましょう。



不明な点は J A 営農センターまたは普及センターまでお問い合わせ下さい。